

## 呉市海事歴史科学館及び呉市入船山記念館に係る指定管理者の候補者の適否判断について

呉市海事歴史科学館及び呉市入船山記念館の指定管理者の候補者について次のとおり適否判断をしました。

### 1 施設の概要

#### (1) 呉市海事歴史科学館

ア 所在地 呉市宝町5番20号

イ 設置目的 明治以降の日本の近現代史の縮図ともいえる呉の歴史及びその近代化の礎となった各種の科学技術を紹介することにより、住民が歴史への理解を深め、科学技術への興味と関心を高め、平和の大切さについて考えるとともに、学習の場及び住民交流の場を提供することにより、地域の教育及び文化の向上並びに観光の振興に寄与するための施設として設置する。

#### (2) 呉市入船山記念館

ア 所在地 呉市幸町4番6号

イ 設置目的 呉市幸町入船山公園内に、本市の歴史的記念物、資料等の保存を図るとともに、郷土文化の向上に資するため呉市入船山記念館を設置する。

### 2 募集の概要

(1) 募集期間 令和5年9月26日（火）から令和5年10月20日（金）まで

(2) 候補者

団体名	団体所在地	代表者氏名
大和ミュージアム・入船山記念館運営グループ (代表者) TOPPAN 株式会社西日本事業本部中四国事業部 (構成員) 株式会社トータルメディア開発研究所 (構成員) 株式会社日本旅行 (構成員) ビルックス株式会社	広島県広島市南区松原町2番62号	西山 郁也

### 3 審査の概要と結果

#### (1) 審査方法

呉市海事歴史科学館及び呉市入船山記念館指定管理者選定委員会において、応募者から提出された書類及びヒアリング等をもとに、各委員が審査基準ごとにその適否を審査しました。

#### (2) 審査基準

審査基準	主な評価の視点	配点
ア 管理運営の基本方針が施設の設置目的に則り，利用者の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設として市民等の平等な利用の確保</li> <li>・不当な利用制限の有無</li> <li>・特定の者のみに有利な利用形態の有無</li> </ul>	適・否 ※否は失格
イ 施設等の適切な維持管理が図られるものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した管理が行われる管理責任者及び人数の配置</li> <li>・適正かつ確実な維持管理</li> <li>・災害時や緊急時等の適切な対応</li> </ul>	適・否 ※否は失格
ウ 管理に係る経費の削減が図られるものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な収支計画書の規模・内容</li> <li>・適切な提案額</li> <li>・管理経費の削減のための工夫</li> <li>・事業計画と収支計画の整合</li> </ul>	適・否 ※否は失格
エ 歴史科学館及び記念館の利用促進が図られるものであること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数の目標設定</li> <li>・利用者ニーズの把握による質の高いサービス提供</li> <li>・全国展開できる効果的な営業・広報等</li> <li>・施設の特徴を生かした魅力的な提案</li> <li>・市内各施設との回遊性の向上</li> <li>・利用者数を増進させるための提案</li> <li>・リニューアル効果を増進する広報及び事業等の内容や実施体制</li> </ul>	適・否 ※否は失格
オ 施設の管理を安定して行う能力を有していること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基盤の安定と管理能力の有無</li> <li>・博物館運営等に関する良好な実績</li> <li>・安定的な人員配置</li> <li>・事故等の緊急事態に対応可能な体制</li> <li>・適切な苦情への対応及び個人情報の取扱い</li> </ul>	適・否 ※否は失格
総合判定		適・否 ※否は失格

### (3) 審査結果

審査結果は次のとおりで，大和ミュージアム・入船山記念館運営グループを本施設の指定管理者の候補者に選定しました。

応募者	大和ミュージアム・入船山記念館 運営グループ
総合判定	適

【内訳】		
審査基準ア	適	
審査基準イ	適	
審査基準ウ	適	
審査基準エ	適	
審査基準オ	適	
【評価した点】	<p>(1)15年にわたる運営実績を基に、グループ4社の持つそれぞれの強みを活かすことにより開館期間・閉館期間、さらにはリニューアル後を見据えた施設管理や広報活動により安定した運営が期待できること。</p> <p>(2)ニーズの多様化にあわせ、大和ミュージアムや入船山記念館での体験メニューの提供や市内の回遊を図る施策を展開することにより、来館者の満足度の向上が図られる提案であること。</p> <p>(3)インバウンド需用を積極的に獲得するため、SNSを活用した情報発信や多言語対応の同時翻訳システムを導入することで当該需用の増進が期待できる提案であること。</p>	

4 指定期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

## 5 委員会の議事概要

### (1) 選定委員会の開催状況

- ア 開催日時 第1回 令和5年10月5日(木)  
第2回 令和5年10月25日(水)
- イ 開催場所 呉市海事歴史科学館4階会議室
- ウ 出席者 第1回 民間の学識経験者5人 計5人  
第2回 民間の学識経験者5人、呉市職員1人 計6人

### (2) 議事概要

- ア 主な意見等
- ・大和ミュージアムは、観光の基幹・拠点となる施設であるため、他の施設を先導する姿勢をもって施策に取り組んでいただきたい。
  - ・休館期間中の施策案については、大和ミュージアムのリニューアル開館後も引き続き活用していく意気込みで検討し実施していただきたい。
- イ 委員会の結論
- 指定管理者の候補者の選定に関する事項等の評価の結果、大和ミュージアム・入船山記念館運営グループは候補者として適当であると認められる。

**【問い合わせ】 呉市産業部海事歴史科学館学芸課(電話 0823-25-3047)**